

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市沼垂西3丁目
電話(243)0141

9月14日

20

家賃支援給付金の給付第1号に

しもまち支部 渡辺照子さん

県の婦人部では婦人部でも申請に取り組みことを決め、売上が5月に50%減になった私が相談しながら申請することとなりました。

7月20日に申請をして8月11日に不備メール。「家賃の振込明細書が1枚違う」「契約が23年前で、貸主が変更になったのでその書類がある」その後「貸主の証明書類が自筆でない、住所に新潟県と書いていない」など手続きが煩雑で給付の道のりは遠いと感じました。



8月24日に再申請をして8月中には無理だろうと思っていたら、8月28日に入金となりホッと胸をなでしております。

会員さんや会外の中に給付されるはずの人がまだまだたくさんいると思います。訪問活動を強め、民商を宣伝しよう！

国保料減免承認通知書が届きました

関屋支部 大衆料理Aさん

私は学校町の市役所の近くで営業しております。昼は定食、夜は酒を提供。主力は宴会と弁当の仕出しです。コロナ禍で4月からの5か月間、前年比売上は半分以下に落ちました。持続化給付金・協力金などで食いつないでおります。

私が政府に対して一番不満に思っている事は、コロナがいつ収束するかわからない中で給付金を1回限りで終わらせている事です。消費税を減税して、国債をどんどん発行し弱者に光をあてる。日本の国力なら国は潰れません。



最後に給付金などの申請は一人ではできず民商に入っていてよかった。感謝です。

日程

- ・ 9月15日(火) 婦人部三役会・理事会
- ・ 9月19日(土) 全青協オンライン交流会
- ・ 9月26日(土) 集団検診活動

石山支部 休業要請協力金など

業者仲間にも広め、1名が入会

今年4月、緊急事態宣言が発令され県内にも飲食業を中心とした業者に休業要請が出されました。

石山支部で飲食店を経営しているMさんは、要請に応じた業者に県と市から10万円が給付される「休業要請協力金」の申請方法について民商に相談し、申請を終えました。

「同業の仲間にも教えるから、申請用紙を4枚持ってきて」と自身の申請の後、



会外の業者にも書き方を教え、民商への入会を勧めました。後に「持続化給付金」の申請が始まると、Mさんから民商の事を聞いていた飲食店経営のSさんが入会。持続化給付金の申請を終えた際にSさんは「とても一人ではできない。民商に手伝ってもらって良かった」と話しました。現在は家賃支援給付金を申請中です。

コロナ対策をしっかりと請じて

亀田支部新役員顔合わせ会

9月6日(日) 亀田支部では役員慰労会を開催。会員の竹七さん(そば店)にて行い、9名が参加しました。

毎年9月は顔合わせ会を開催してきましたので、マスク着用などコロナ対策をしっかりと講じました。

前半は支部役員会。定期開催のコロナ相談会の日程や記帳学習会の日程を相談。会外への宣伝もSNSを利用し会外に広く呼びかけて仲間を増やすこと、班編成を決め各班の班長が決まるまで役員が在籍する班に責任を持つことなどを議論しました。



懇親会では田辺副支部長が乾杯の音頭を。日頃のコロナなどで溜まったうっぶんを晴らすように、賑やかに交流がすすみます。「久しぶりに見知った顔と会えて楽しかった」との声も。疲れを吹き飛ばし、これからの支部活動を盛り上げていくことを誓い合いました。

班会や支部の集まりで大いに共済の魅力を語り、全会員加入と配偶者40%加入を目指そう！

新潟民商共済会第36回定期総会 開催



9月6日(日) 新潟民商共済会総会が民商会館で開催され、約50名が参加しました。はじめに高橋士郎理事長が「我々自営業者は健康が大事です。集団検診や大腸がん検診への受診の呼びかけをしましよ。う。」と挨拶。次に磯部専務理事より方針案が提起され、大島巖会計より会計報告と予算案の提案がありました。



休憩後は「新型コロナ対策」として松本里志副理事長より様々な制度の説明や支部で取り組んだ「コロナ相談会」の様子、自身が申請した話などを報告しました。発言では駅前、亀田、山ノ下支部の代表から支部で取り組んだ「コロナ相談会」の様子が出され、最後に方針案・予算案・役員提案を満場一致で採択しました。



総会に向けての拡大表彰では目標を達成した5支部のうち万代支部の代表が表彰を受け取りました。新しく選出された三役・理事がステージに立ち高橋理事長を先頭にこれから一年間の民商共済会の活動に取り組むことを決意新たにしました。最後に山本哲雄理事の挨拶で閉会。新型コロナウイルス感染対策のため、通常よりも短時間の総会となりました。

新三役の顔ぶれ

- 理事長 高橋士郎(松浜・現)
- 副理事長 市橋栄治郎(石山・現)
- 菅原ミヨ子(山潟・現)
- 松本里志(亀田・現)
- 山本哲雄(石山・現)
- 小池早苗(駅前・現)
- 遠藤民子(小針・新)
- 大島巖(関屋・現)
- 専務理事 磯部雅俊(事務局・現)

1000名の会外業者と対話しもう！

新潟民商第1回常任理事会

新潟民商では9月2日に総会後初めてとなる常任理事会を開催しました。常任理事会では秋の運動で新型コロナ対策の相談会を各支部・各班で開催していくことや、コロナ相談が会員の35%に留まっていることから相談会チラシを持つての全会員訪問を行うことなどが提起されました。

討論では「家賃支援給付金が振り込まれた。民商では第1号だ」などのこの間かちとってきた成果や、「毎月役員で手分けして全会員に相談会の案内をしている」などの支部の努力などの交流がすすむ一方で、「給付金が所得になるのはおかしい。所得計算に入れさせない運動も」などの意見もだされました。



「自分が各種制度に該当するのかわからない業者は会内外に多くいる」ことで、今「民商に相談してみたら？」の声掛けは人助けの活動であることを確認。一人の会員が一人の会外業者に声を掛ける『1000名対話運動』が提起されました。

最後に野上昇会長(関屋支部)は、「民商が取り組んでいることを知らせることで共感が広がる。その共感の広がりの中で仲間を増やしていきましょう」とあいさつし閉会となりました。

各支部の新型コロナ対策相談会

支部	日時	会場
山ノ下・太平 東山ノ下	9月18日(金) 夜6時～	中地区コミセン
女池支部	9月23日(水) 夜6時30分～	烏屋野地区 センター
木戸支部	9月25日(金) 夜7時～	東区プラザ
しもまち支部	10月1日(木) 夜6時～	稲荷町集会所

